

平成29年度における介護給付適正化部会の運営について（案）

1. 背景

- 都は平成26年度末、「東京都第3期介護給付適正化計画（平成27年度～29年度）」を策定した。計画では、都・国保連・財団の三者が一体となって、介護給付適正化に取り組む保険者を支援することとしており、現在、計画3年目としてその推進を図っているところである。
- 保険者は、上記計画において、介護給付適正化事業の推進に向けた3か年の実施目標及びその達成に向けた実施方法等を具体的に設定し、都はその進行管理を支援していく必要がある。
- また、平成30年度から次期計画期間となり、今後発出される国指針等の内容やスケジュールを踏まえ、次期計画策定を進めていく必要がある。
- 平成30年には居宅介護支援事業所の指定・監督権限が保険者に移行する等、ケアマネジメントの質の向上に係る保険者の取組は、今後より一層効果的・効率的に進められる必要がある。

2. 検討事項（案）

- 上記を踏まえ、平成29年度においては以下のことについて検討する。
 - （1）第3期介護給付適正化計画の推進について
 - ・ 保険者における計画2年目の実績検証
 - ・ 3期計画において保険者が設定した実施目標等の進行管理支援
 - （2）第4期介護給付適正化計画（仮）の策定について
 - （3）ケアマネジメントの質の向上について

3. スケジュール及び介護給付適正化に係る実施事項について（案）

1 介護給付適正化部会の実施

- 全3回実施（平成29年6月頃、11月頃、平成30年2月頃を予定）

2 介護給付適正化推進研修会の開催

- 研修会1（平成29年度後半）
 - ・ テーマ別、小規模な研修会
 - ・ グループ討議による具体策検討を中心とするため、一度の参加人数を抑える（多くなる場合、午前と午後に分ける等）
 - ・ 適正化の各事業別目的を絞って事例発表・事例検討を行う
 - ・ 半日（2～3時間）程度
- 研修会2（平成29年度1月～2月頃）
 - ・ 28年度第2回研修会と同様・同規模
 - ・ 事例発表、グループ討議、他
 - ・ 午後半日、または終日の開催
 - ・ 事例発表、ゲストスピーカー等は区市町村や本部会の意見を踏まえ検討

3 アンケート調査の実施

- 28年度実績と計画更新等の状況調査（平成29年5月頃）

4 技術的助言におけるヒアリング

- 平成29年6月頃～12月頃（技術的助言の実施スケジュールによる）
 - ・ 基本的には28年度と同様に、適正化の考え方と進捗状況の確認及び都からの助言
 - ・ 第4期計画の策定に向けたヒアリング及び助言
 - ・ 他保険者へ展開できるような事例の収集